2016 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	法学研究科					
評価基準5	学生の受け入れ 【自己評定 B 】					
点検・評価項目(1)	5-1 学生の受け入れ方針を明示しているか。					
評価の視点	求める学生像の明示					
	当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示					
	障がいのある学生の受け入れ方針					
点検・評価項目(2) 5-2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。						
評価の視点	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性					
	入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性					
点検・評価項目(3)	5-3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。					
評価の視点	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性					
	定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応					
点検・評価項目(4)	5-4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、					
	定期的に検証を行っているか。					
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。					

Ⅱ【点検・評価項目ごとの現状説明】

- 5-1 博士課程前期課程は、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、下記のような学力および意欲を有する人物を求める。
 - 1. 法律学または政治学を学ぶのに十分な基礎学力を有する人
 - 2. 社会の諸問題について強い関心を持つ人
 - 3. 法律学専攻および政治学専攻が別個に定める受け入れ方針に従い、進学および入学を望む人

博士課程後期課程は、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、下記のような学力および意欲を有する人物を求める。

- 1. 法律学または政治学を学ぶのに十分な基礎学力を有する人
- 2. 各専門分野における既存の研究水準を踏まえ、より明確な問題意識を持って研究に取り組む意欲のある人
- 3. 法律学専攻および政治学専攻がそれぞれ定める受け入れ方針に従い、進学および入学を望む人
- 5-2 入学者選抜については、公正性および透明性を高めるために、すべての入試方式において、法学研究科委員会が選任する 2 名の面接委員によって口述試験を実施し、研究科委員会において厳正な手続きにより合否判定を行っている。
- 5-3 法学研究科では、研究科委員会において毎年度の入学者数を決定し、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理している。 しかし、収容定員に対する在籍学生数比率(収容定員充足率)は、博士課程前期課程が 0.18 倍、博士課程後期課程が 0.07 倍で、極めて低い状態が継続している。2012~2016 年度入試における入学定員に対する入学者数比率(入学定員充足率)の平均は、博士課程前期課程が 0.28 倍、博士課程後期課程が 0.04 倍である(d1-表 4、B5・22 d2・表 33)。

2010 年度に受審した大学評価(認証評価)において、法学研究科の収容定員に対する在籍学生数比率は、博士課程前期課程が 0.44 倍、博士課程後期課程が 0.07 倍と低いので、改善が望まれると助言を受けた。本研究科では、独自の『進学ガイド』を発行し、板橋区役所長寿社会推進課に寄託し希望者への配布を依頼するなど、志願者の増加を図る取り組みを行っているが、現在までのところ志願者の増加には結びついておらず、数値は改善されていない (B5-10)。

5-4 法学研究科においては、学生募集および入学者選抜の適切性は、学生の受け入れ方針に基づき、毎年入学試験科目を含め、 各専攻協議会および研究科委員会において検証を行っている。また、年度ごとの自己点検・評価活動でも検証している(B5-11)。

【効果が上がっている事項】

5-1	
5-2	
5-3	
5-4	

【改善すべき事項】

5-1	
5-2	入試要項や「大学院法学研究科・進学ガイド」に、入学に際して修得しておくべき知識等の内容が明示されていない。
5-3	
5-4	

本項目の根拠資料(データ類、裏付けとなる資料)

A5-4 大東文化大学大学院案内 2016 《既出》A1-7

A5-5-1 2016 年度大学院入学試験要項

A5-5-4 2016 年度法学研究科推薦入学試験募集要項

A5-7 大東文化大学大学院学則 《既出》A1-2

B5-7 大学 HP 大学院入試情報 http://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/admission/index.html

B5-10 法学研究科進学ガイド ≪既出≫B1-12

B5-11 大学ホームページ (自己点検・評価活動)

http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/index.html 《既出》B1-16

B5-21 大学ホームページ(情報公開)http://www.daito.ac.jp/information/open/index.html

≪既出≫B1-6

B5-22 大学データ集 ≪既出≫B1-22

<大学基礎データ>

d1-表 3 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移

d1-表 4 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数

[追加資料]

Ⅲ【達成目標】目標の進捗状況は、「S:完全に達成」 「A:概ね達成」 「B:やや不十分」 「C:不十分」 で、評価する。

	1日保の進汐状況は、「3. 児主に達成」	「A・1994年度」 「D・、、「1、「カ」		71170]	C , p	TIM タ つo	·	
達成目標		目標達成の指標となるもの		評価				
				2014	2015	2016	2017	2018
中期目標	5-3 前期課程入学者数の増加に向け	入学者数が増加している	\rightarrow			С		
(2014~	てPR活動を充実させる。							
2018)	5-2 入試要項や「大学院法学研究	入試要項や「大学院法学研究科・進学ガ	\rightarrow			В		
	科・進学ガイド」に、入学に際して	イド」に、入学に際して修得しておくべ						
	修得しておくべき知識等の内容・水	き知識等の内容・水準が明示されている。						
	準を明示する。							
14 年度	5-2 前期課程に関し、入試要項や	前期課程に関し、入試要項や「大学院法	\rightarrow	В				
目標	「大学院法学研究科・進学ガイド」	学研究科・進学ガイド」に、入学に際し						
	に、入学に際して修得しておくべき	て修得しておくべき知識等の内容・水準						
	知識等の内容・水準を明示する。	が明示されている。						
	5-1 アドミッション・ポリシーを基	アドミッション・ポリシーを基礎として、	\rightarrow	В				
	礎として、入学者の受け入れに関す	入学者の受け入れに関する具体的な基準						
	る具体的な基準を検討する。	が設定される						
15 年度	5-3 PR活動を充実させるために、	オリジナル・HPがリニューアルされる。			S			
目標	法学研究科オリジナル・HPのリニ							
	ューアルを図る。							
16 年度	5-2「大学院法学研究科・進学ガイド」	「大学院法学研究科・進学ガイド」に、						
目標	に、入学に際して修得しておくべき	入学に際して修得しておくべき知識等の				В		
	知識等の内容を明示する。	内容が記載されている。						